

死者は、私たちのなかでいかに〈生きて〉いるのか

死を感受する

情動論から生の潜在性へ

西井 凉子 編
(東京外国語大学名誉教授)

定価：本体 3,500 円 + 税
A5 判 並製 408 頁 ISBN 978-4-8140-0630-4

私たちの生の現実とは、目の前にはいない「不在」の存在を感受し、そうした存在ともアフェクトしあいつつ生成されている。死という根源的な経験を見据えることで、生きる現実を新たな視線から捉えなおし、葬儀のあり方の変化やデスマスク、死と死者をめぐる記憶の語りなど死をめぐる様々な現実から、これまで確固としたものにみえていた生から、「こうありえたかもしれない」という別様の生に迫る。

【目次から】

序章 死という経験
情動（アフェクトゥス）論からの探求
〔西井凉子〕

I 死のマテリアリティ

1 章 そのご遺体はナマです
葬儀業の仕事にみるナマ感覚のアンビヴァレンス
〔田中大介〕

2 章 死者の「顔」と出会い直す
現代のデスマスクをめぐって
〔高木良子〕

II 身体と生きる場

3 章 なぜ住み慣れた地域で最期を迎えたいのか
沖縄・池間島における生と死の潜在性
〔加賀谷真梨〕

4 章 家族水入らずのバーチャル葬儀
〔瓜生大輔〕

エッセイ 1 死と音楽のアフェクト 〔田井みのり〕

III 死をめぐる個と集合性

5 章 喪喪小屋で「昇華」される死
死の集合性と物質性に関する考察
〔金セツピヨル〕

6 章 津波による〈死者〉とともに創りつなく表現の形
〔丹羽朋子〕

7 章 民主化運動における「死」
ソーシャルメディアと情動
〔土佐桂子〕

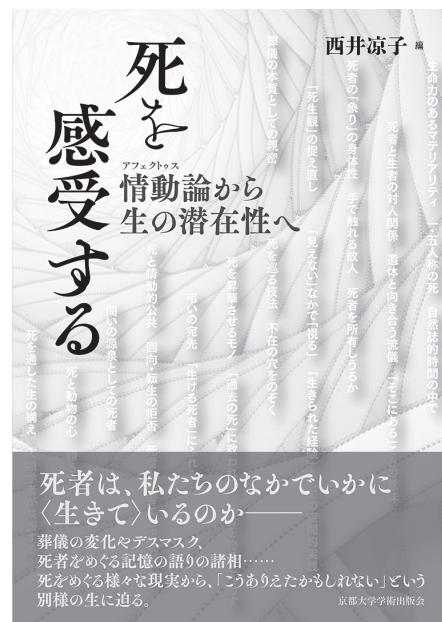
エッセイ 2 カオ・トムの記憶
現在に潜在する死者たち
〔西井凉子〕

IV 死と時間性——死者とともにあること

8 章 言葉が言葉でなくなる時
語りを引き継ぎ、死者とともに生きることに
の考察 〔磯野真穂〕

9 章 悲嘆の自然誌
〔黒田末寿〕

終章 死を感受する
情動（アフェクトゥス）論的フィールドワークが拓く世



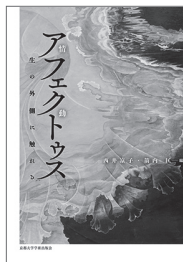
刊行予定：2025 年 12 月 25 日
条件：新刊委託
対象読者：教養～専門
おすすめの棚：文化人類学
おすすめ度：★★★★☆

好評 2 刷！
併売おすすめ

アフェクトゥス
生の外側に触れる
西井凉子・箭内 匡 編

定価：本体 4,000 円 + 税
A5 判 上製 460 頁
ISBN 978-4-8140-0308-2

世界を情動の相から眺めて、
我々は初めて生の現実を知る



注文書

お申し込みは → 京都大学学術出版会 FAX 075-761-6190

番 線 印		新 刊 委 託 指 定	西井凉子 編 死を感受する 情動論から生の潜在性へ ※12/5（金）指定配本 受付締切 ISBN 978-4-8140-0630-4 C3039 定価：本体 3500 円 + 税
	ご担当		
番 線 印		注 文 扱 返 品 条 件 付	西井凉子・箭内 匡 編 アフェクトゥス 既刊 随時出荷 ISBN 978-4-8140-0308-2 C3039 定価：本体 4000 円 + 税
	ご担当		